指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県朝日少年自然の家	指定管理者	株式会社ヤマコー
所在地	西村山郡大江町大字左沢字楯山2523-5	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和４年４月１日　～　令和９年３月31日		
検証期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月31日	（電話番号）	（023－630－2831）

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
① 管理・運営業務の履行状況	・指定管理制度３期目初年度となる今年度は、県職員の方々との協力・連携するとともに、万全な新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、施設の維持管理、受入支援及び企画・自主事業の実施に取り組み、実利用者数13,694名（前年比128.9%）、延利用者数15,961（前年比130.4%）の結果で終了いたしました。 ・広報活動では、事業要項を上半期と下半期に分けて近隣市町の全小学生に配布しました。また、県のフェイスブック、県報や市町報、新聞にも企画事業等の要項を掲載し、広く県民の皆様に対する周知に努めました。 ・今年度は雪に恵まれ、１月と２月に実施いたしました雪に係る企画事業では２事業合計で123名の参加をいただきました。 ・県及び指定管理者の運営並びに調整会議を定例化（週１回）を継続し、スムーズな施設管理・事業運営に取り組みました。 ・利用者の安全、安心を確保するため野外遊具の安全点検及び修繕、大型バスのタイヤ交換、本館ドアクローザー交換、消防設備修繕等を行いました。	評　価 A	≪評価の理由≫ ・県と指定管理者の定期的な調整会議の開催等により、連携・協力体制による施設運営がなされている。 ・指定管理者のノウハウを活かした広報活動を展開している。 ・新型コロナウイルス感染症対策の実施や、設備の安全点検及び修繕等を行い、利用者が安心して利用できるよう安全の確保に努めた。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・施設設備の老朽化が進んでおり、昨年度に引き続き、本館・体育館の壁面、暖房設備、体育館屋根の塗り替え、浴室天井の張替え、野外遊具の改修等、利用者の安全確保に係る修繕計画を作成していく必要があります。	≪課題等の原因分析≫ ・施設の老朽化が進行しており、修繕を要する箇所が増加している。	
課題、問題点への今後の対応	・施設の老朽化については、利用者の安全確保を第一とし、県と指定管理者で協議しながら必要な修繕を実施していく。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	・利用者のニーズに応え、かまど焼きピザとネイチャートートバックを親子で作る自主事業のプログラム（令和５年度実施予定）を開発しました。 ・企画事業では利用者がゆっくり自然を満喫できるようなプログラムの時間設定を行いました。	評　価 A	≪評価の理由≫ ・利用者からの意見・要望を把握し、実施可能なものから対応している。 ・併せて、利用者のニーズに応じた事業を実施しており、利用者の満足度が向上している。
意見・要望等への今後の対応	・引き続き利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望の把握及び対応に努めていただきたい。 ・同様に利用者のニーズに応じた事業実施により満足度向上に努めていただきたい。		

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	・利用者のアンケート等も参考にし、企画事業10事業を実施。新型コロナウイルスの影響により、２企画事業の中止を余儀なくされましたが、いずれの事業も申込締め切りを待たずに定員になる企画が多く、今後もお客様のニーズに応えられるよう努めてまいります。 ・お子様から高齢者まで幅広くご利用いただける生涯学習の拠点施設を目指し、自然の家の活動紹介と４つの新規講座を盛り込んだ広告チラシを村山地域全域（一部の地域を除く）に新聞折込し、10講座（前年差異+２講座）を開講。各講座月１～２回開催いたしました。また、新たな自主事業として「朝少の秋　THEいもパ」（焼き芋パーティー）と題し、昔ながらの焼き芋の焼き方体験や木のペンダント作り体験を家族で楽しんでいただく事業を企画し、60名より参加をいただきました。 ・老朽化対策として、遊具の安全点検及び修繕、大型バス車庫屋根修繕、渡り廊下トタン修繕等を行いました。	評　価 A	≪評価の理由≫ ・職員の丁寧な対応により、職員対応への満足度は「４　満足」が約95%と高評価を得ている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業への制限があった中で、魅力的な企画事業を実施し利用者から好評を得た。 ・安全面では、消防設備の修繕、衛生面では、毛布やシュラフクリーニングの実施など利用者サービスの向上に努めている。
② 経費の節減	・管内教育委員会への事業等チラシ配布については直接持込とし、また所内資料の裏紙利用の徹底を図り、事務費節減に努めました。 ・利用状況に応じた人員配置により、人件費節減に努めました。 ・適宜、照明・ボイラーの入切を行い、光熱費節減に努めました。	評　価 B	≪評価の理由≫ ・繁閑に応じた人員配置の調整や工夫した経費の節減を実施している。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・今年度も・大江町「おおえの星空係」の皆様から、プラネタリウム一般公開時や企画事業の際、望遠鏡の使い方や銀河について解説していただきました。 ・「月山志津野営場管理組合」と連携し、冬のブナ森を探索する企画事業を実施いたしました。 ・企画事業「チューブすべりとアイスクリームづくり」に対し、地元左沢高校のボランティアよりご協力をいただきました。 ・企画事業「ヤマガタダイカイギュウと化石掘り」では、県立博物館、大江町用地区、朝日町能中地区よりご協力をいただきました。 ・今後は、山形大学地域教育文化学部、地元左沢高等学校とボランティアスタッフに係る連携を継続強化してまいりたいと考えております。	評　価 A	≪評価の理由≫ ・地域の人材を活かした事業を多く展開し、又、地元学生ボランティアの協力により更なる地域の活性化に貢献している。
総合的な評価	・令和４年度は指定管理３期目の初年であったが、県と指定管理者の連携・協力体制や、これまでの経験に基づく安定的な施設運営、魅力的な事業展開がなされている。 ・児童生徒のみでなく大人も対象にした事業の実施により、利用者層の拡大につながっている。		

【評価指標】

Ａ ：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
Ｂ ：概ね適正に実施されている。
Ｃ ：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
Ｄ ：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注）検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。